平成26年8月28日

大阪大学

基礎工学研究科

石黒 浩 教授

情報科学研究科

ヒューマンウェア博士後期課程プログラム第一期生

徳山 健斗

ビデオレター撮影のお願い

拝啓、時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび潜在的なヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラム学生の勧誘に向け、来る9/29(月) に学部3，4回生を対象としたセミナーを開催することになりました。つきましては、ご多忙中誠に恐縮ですが、石黒先生に基礎工学研究科を代表してビデオレターという形で出演して頂けないかと思い、ご連絡差し上げております。撮影内容に関しては下記の通りです。

　先生のお話は、学部生に対しヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラムを人生の選択肢の一つとして考えてもらうために、非常に有益な指針になると確信しております。

　なお、お手数ですが、ご都合のよい時間を9月4日(木)までにお返事を頂けますと幸いです。何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 日時 9月8日～20日10時～18時のどこか、１時間程度

2. 場所 先生ご指定の場所。

3. 形式 学部生に向けたメッセージ、学生によるインタビュー

4. 内容 次頁をご参照ください。

以上

【先生にお話し頂きたい内容】

* 先生の研究内容の簡単なご紹介。
* 異分野融合の必要性およびヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラムで実現可能な目標。
* 現在の社会情勢などを背景に博士号取得の意義について。

【学生によりインタビューさせて頂く内容】

* 先生が学部生のころ、自分の将来についてどう考えていましたか。
* 先生は絵描きになるのが夢だったと著書で読んでことがあるのですが、そこからなぜ、研究者の道に進まれたのでしょうか。
* 先生の時代の博士課程と比べて、ヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラムの制度をどう思いますか。
* 最近の理系は修士卒で就職することがスタンダードになっている感じがありますが、先生は博士進学による就職の際のメリットは何だとお考えですか。
* ヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラムのような博士課程の進学を支えるリーディングプログラムが増えていますが、まだ社会は博士号を持つ学生を受け入れる体制になっていないと思います。先生は博士号を取得した学生がこれからどのように生きて行くとお考えでしょうか。
* 先生は、芸術家や哲学者、テレビ業界など様々な分野の方と一緒にお仕事をされていますが、なぜ異分野の方と関わるのでしょうか。またそこでどのようなものが生まれるとお考えでしょうか。

インタビュアー：基礎工学研究科　渡辺 美紀